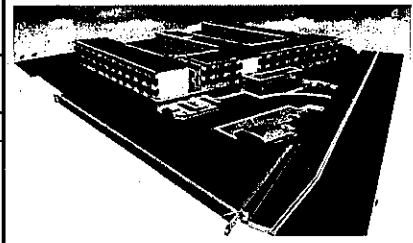


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)木津川台1丁目賃貸7F+新築工事	階数	地上3F
建設地	京都府木津川市木津川台1丁目12-2の一部、12-3	構造	S造
用途地域	近隣商業地域	平均居住人員	120人
地域区分	S地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	31年2月28日 予定	評価の実施日	2018年4月4日
敷地面積	6,599㎡	作成者	望月 伸一
建築面積	1,525㎡	確認日	2018年4月6日
延床面積	3,749㎡	確認者	望月 伸一



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (138 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 73%

③上記+②以外の: 73%

④上記+: 73%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5

Q1 室内環境: 3

Q3 室外環境 (敷地内): 3

LR1 エネルギー: 1

LR2 資源・マテリアル: 2

LR3 敷地外環境: 2

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.8

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 建築物形状や色彩等に配慮して、周辺環境に合致したデザインにしている。		その他 工事中における廃棄物削減、リサイクルについては可能な範囲内で考慮する。
Q1 室内環境 特になし。	Q2 サービス性能 情報通信設備を装備する。	Q3 室外環境 (敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー 照明にLEDを使用する。	LR2 資源・マテリアル 特になし。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率に考慮する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される